

農林水産物の
輸出促進研究開発プラットフォーム
@九州・沖縄

第4回 公開シンポジウム

3.18 日
16:30-18:00

『農林水産物・食品の輸出と産学連携

～ ビジネスと研究の融合が生み出す未来～』

西鉄グランドホテル
プレジールB

福岡市中央区大名2-6-60

ウェビナー
配信あり

参加費無料
事前申込制
定員40名



アクセンチュア株式会社
ビジネスコンサルティング本部
プリンシパル ディレクター

小栗 史也 氏

2008年東京大学工学部都市工学科卒、2010年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修了、2010年アクセンチュア株式会社入社。主に官公庁/自治体・金融・教育・スマートシティ関連の案件を中心に従事。

2013年農林水産省「輸出戦略実行事業」を皮切りに、日本産農産物の輸出に向けた海外調査・輸出戦略策定・輸出支援業務に継続的に従事し、2018年からは農林水産物・食品輸出プロジェクトGFPの立ち上げから運営まで責任者として参画。九州・鹿児島を中心として、輸出チーム組成～商流・物流構築～海外プロモーションまでの一気通貫での輸出支援・個社支援も多数。

プログラム

○プラットフォームのこれまでの歩み
コーディネートユニット

房 賢貞
(九州大学大学院 農学研究院 助教)

○講 演
「農林水産物・食品輸出における研究ネットワークの未来」
小栗 史也 氏
(アクセンチュア株式会社 プリンシパル ディレクター)

○ラウンドテーブル
【ファシリテーター】
コーディネートユニット
中武 貞文
(鹿児島大学 南九州・南西諸島域イノベーションセンター 准教授)

主 催 農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄
共 催 国立大学法人九州大学大学院 農学研究院、公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)
後 援 公益財団法人九州経済調査協会

第4回公開シンポジウム

「農林水産物・食品の輸出と産学連携 ～ビジネスと研究の融合が生み出す未来～」

日本の農産物輸出の未来を共に考え、新たな連携の可能性を探る場となる
本シンポジウムに、是非ご参加ください！

講演内容

「農林水産物・食品輸出における研究ネットワークの未来」

アクセンチュア株式会社 ビジネスコンサルティング本部 プリンシパル ディレクター
小栗 史也 氏

政府の輸出目標である2025年2兆円、2030年5兆円達成に向け、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」が進められる中、輸出産業は大きな変革期を迎えている。農林水産省の輸出推進プロジェクト「GFP *1」の事務局を務めるアクセンチュアは、輸出促進における技術的課題やビジネス環境の変化を分析し、産学官の連携による解決策を提案している。

本講演では、輸出競争力を高めるために求められる技術革新やデジタル戦略の活用、さらには大学の研究シーズとビジネスの融合の可能性について具体的な事例とともに考察する。遠赤外線や紫外線照射による品質保持、スマート農業技術、輸出DXの実装など、多様な技術アプローチを紹介しながら、研究と実践を結びつける新たな枠組みを考える。

*1 GFP・・・Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Project、
農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品輸出プロジェクト

会場へのアクセス

西鉄グランドホテル 2F プレジールB

地下鉄天神駅から2番出口より徒歩1分



申込方法

事前申込が必要です

参加費無料/定員40名(会場参加) / 先着順
※会場参加は定員になり次第、締め切らせていただきます。

農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄
ホームページ

<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/~a2b-platform/>



お知らせ「【3月18日開催】第4回公開シンポジウム」

会場参加 → 「会場参加」からエントリー
ウェビナー → 「ウェビナー視聴」からエントリー

【個人情報の取り扱いについて】

ご入力いただきました個人情報は、当プラットフォームが実施する事業のご案内以外には使用しません。

お問い合わせ



農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄

《運営事務局》

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構

担当：藤井



福岡市西区西都1丁目1-27 1F



info-qpf.2nd@agr.kyushu-u.ac.jp



092-805-3677

(平日9:00~17:00、土・日・祝日を除く)